

大粒な米づくり  
で、食味向上!

平成29年  
水稻生育情報  
第1報

平成29年5月24日  
夷隅農業事務所  
改良普及課  
TEL 82-2213

生育はやや遅い～平年並、中干しで適正穂数に!

ジャンボタニシに注意! ばか苗病の対策を!

本年は、育苗期の3月から4月にかけての断続的な低温の影響により、ムレ苗症状が散見されましたが、気温の上昇とともに症状は緩和されました。また、ふさおとめで初期生育の遅れによる茎数不足が見られるため、浅水管理を行うなど水温の上昇に努め、分けつを促してください。

表1 定点調査ほ場の生育状況 (5月19日現在)

品種名	調査場所	田植え	平年比			中干しの目安
			葉齢の進み	草丈	茎数	
ふさおとめ	いすみ市島	4月21日	やや遅い	やや低い	少ない	6月上旬
ふさこがね	大多喜町下大多喜	4月21日	やや速い	やや低い	やや少ない	6月上旬
コシヒカリ	いすみ市松丸	4月19日	並	並	並	6月上旬

【分けつが盛んな時期、ほ場ごとの生育に合わせて中干しを】

「大粒で食味の良い米を作る」、「乳白米等の無い高品質の米を作る」、「天候不順な年でも安定した収量を得る」ため、中干しを適期に実施しましょう。

中干しに入る茎数の目安

ふさおとめ：(60株/坪) 22～24本/株

ふさこがね：(60株/坪) 20～21本/株 (50株/坪) 23～24本/株

コシヒカリ：(60株/坪) 17～20本/株 (50株/坪) 21～24本/株

【天候不順に強いイネを作るために】

以下に記載した肥料は、根の張りや茎を丈夫にする効果があり、天候不順の年でイネの生育が弱いときに効果があります。これらの資材は施用時に入水する必要はありません。

(1) 苦土過りん酸 (根張りを良くして、登熟を向上させます)

施用量：20～40kg/10a

(2) けい酸加里 (硬くて丈夫なイネになり、倒伏・病害等に強くなります)

施用量：30～40kg/10a

◎施用時期はいずれも6月上旬です。

### 【ジャンボタニシの食害に注意、体系的な防除の実施を】

5月17日付で発令された病害虫発生予報（第2号）でジャンボタニシの多発予報が出ているので、被害の大きいほ場では防除をお勧めします。

ジャンボタニシの防除は、表2に示した薬剤防除とともに、貝・卵塊の除去および浅水管理などを組み合わせた体系的な防除が効果的です。

表2 主な防除薬剤

薬剤名（本田施用剤）	使用時期/使用回数	使用量	備考
スクミノン	収穫60日前まで/2回以内	1～4 kg/10a	殺貝
スクミンベイト	発生時	2～4 kg/10a	殺貝+食害防止
スクミハンター	収穫45日前まで/3回以内	1～2 kg/10a	食害防止
パダン粒剤4	収穫30日前まで/6回以内	4kg/10a	食害防止



苗を食害するジャンボタニシ



被害を受けたほ場

### 【ばか苗病の撲滅に、御協力をお願いします】

昨年度、採種ほ場でのばか苗病が確認されたため、種子として扱えない事例が発生いたしました。千葉県では採種ほ場の半径200m以内でばか苗病多発ほ場がある場合には種子として取り扱うことができません。採種ほ場には、目印として採種ほ場である旨の標札を立ててありますので、周辺農家の皆様にはばか苗病の予防をお願いします。

ほ場内でばか苗感染株を見つけた場合には、株ごと抜き取りほ場外へ持ち出し、適正に処理して下さい。



本田に発生したばか苗病感染株



感染株の拡大図

